



# 金魚の しずく

glass tears

玻璃、少女。



水槽の中の私は、  
初めてひとを信じて陸にあがる



'01年カンヌ国際映画祭監督週間正式出品

'02年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭

ヤング・ファンタスティック・グランプリ部門 審査員特別賞受賞

'02年香港電影金像獎 新人賞 (ゼニー・クォック) ノミネート

家出する気持ち分かる？  
家だと冷蔵庫にとじ込められた気分。  
時には新鮮な空気が必要なの。



## 金魚のしずく

愛情のない家庭から逃れ、反抗的で、いつも金魚みたいな真っ赤の服を着た、16歳のP(ゼニー・クック)。  
大陸出身の元警官で、かつて遊園地だった孤島に独り暮らす、60歳のウー(ロー・リエ)。  
Pの友達でウーの孫娘である、チョーが家出したことから、2人は遭遇し、共にチョーを捜索することになる。  
そこにPのボーイフレンド、トーフ(チョイ・ティンヨー)も加わり、奇妙な3人組での「チョー捜し」が始まる・・・。

物語が美しく綴られ、印象的。  
なんて新鮮な人生経験に満ち溢れているのだろう。  
——ヤン・ハーラン(プロデューサー)

### ★カンヌ、ゆうばり、香港——内外で絶賛

'02年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭で上映された「金魚のしずく」は、審査員長であるヤン・ハーラン(キューブリック監督の義弟で、「シャイニング」「A.I.」等のプロデューサー)の絶大な支持を受け、審査員特別賞を受賞。また本作は、香港映画界でもめざらしく商業映画とインディーズの垣根を越えて製作された等、内外で高い評価を受けた。

### ★信頼できるひとに出会える喜び

Pは、ひとを、「大人」を信用していなかった。最も身近な「大人」の両親を信じられなかったから。でもPはウーと出会った。血のつながりもなく年齢も離れている他人と向き合い、ぶつかり、そして心が触れ合った・・・。  
携帯、メール、インターネット。溢れかえる情報の中、果たして私たちは孤独でなくなったのだろうか？メールアドレスや携帯電話番号の登録数が多ければ多いほど、幸せなのだろうか？生身の人間と交わる、それも真正面から——ちょっと勇気があるけれど、決してむずかしいことじゃない。

トーフの体温、ウーのあたたかい眼差し。こんな時代だからこそ、本作は信頼できるひとに出会える喜びに満ち、「信じること」の大切さを我々に再認識させてくれる。



### ★中国返還後の香港

家出したチョー、そしてその家族は返還後に中国本土からやって来た新移民。父親は仕事が見付からず街をただ彷徨う毎日を送り、一方、将来に漠然とした不安を持つ若者たちは、夜の繁華街へと繰り出す。

島国と大陸。言葉も文化も異なる香港での新しい生活に順応できずにいる人々を、監督は描きだかったという。例えば、チョーの父親が通うキティちゃんショップでの一場面。店番の女の子に言う「ありがとう」は、彼女の広東語に訛りがあるので大陸出身者だと分かり、北京語の「シエシエ」を使っている・・・。

家族、夫婦、友達——孤独と隣り合わせの人々が、ぬくもりを求め、そして再生していく姿に、海の青さと空の大きさが重なり、私たちが自由を感じることができるといえる。

### ★日本の芸能界も注目の若手俳優！

主人公Pを演じたゼニー・クックは、マクドナルド、ソニー、カップヌードルなどのTVCMやファッションブランド「エスプリ」のモデルとして雑誌やショーで活躍。本年の香港電影金像奨にノミネートされるなど、俳優としての実力も発揮。そのキュートなルックスに早くも日本の芸能関係者の注目が集まっているとか。一方、フルーツ・チャン監督にスカウトされ、芸能界入りを果たしたPのボーイフレンド役、チョイ・ティンヨーもワイルドな魅力を見せ、鮮烈な印象を残している。彼には、語学と歌のレッスンのために日本に留学していた経験があるので、金城武やケリー・チャンのように、この2人の若手俳優も日本の映画やドラマで目にする日が来るかもしれない！

プロデューサー:ジョー・マー/監督:キャロル・ライ  
脚本:キャロル・ライ、ルイ・ホウチョン/撮影:ジョン・トンリオン  
編集:ダニー・パン、キャロル・ライ/出演:ゼニー・クック、ロー・リエ、チョイ・ティンヨー、キャリオン、タツ・ラウ  
製作:美亞電影製作有限公司  
All Rights reserved by Mei Ah Development Co., Ltd.

配給:GAGA® アジアグループ  
宣伝:クリエイティブアクザ、スキップ  
原題:玻璃、少女。/英語題:Glass Tears/日本語字幕:太田直子  
2001年/香港映画/92分/1:1.85/35mm/カラー/ドルビー-SR  
香港芸術發展局政策補助金交付作品  
協力:香港政府観光局 <http://www.DiscoverHongKong.com/jpn/>

11月8日(土)よりロードショー

☆前売券(1500円)は近日発売予定

☆シネフェスタ独自の週3回のサービスデー

①毎週月曜:男性1200円②毎週水曜:女性1000円③毎週金曜:女性1200円

地下鉄動物園前⑤出口フェスティバルゲート7F

動物園前シネフェスタ4

☎06(6647)7188 [www.cinefesta.com](http://www.cinefesta.com)

<各回入替制>上映時間はお問い合わせ下さい。